

01 遊び・楽しむ

・身近な自然や動植物を活用した豊かな体験を通して、感じ、気づく

取組事例

01

2歳児 森へLet's go

～ 自然保育につなげるための未就学児園庭整備 ～

社会福祉法人いなべ市社会福祉協議会 いしくれ 石榑保育園 2歳児



森の中を散策している様子

実施時期	令和5年12月
実施場所	園庭及び近隣の森林
時間	2時間30分
対象・人数	2歳児 15人
講師	森のせんせい1人（才賀美奈氏） いなべ市集落支援員1人
備考	園独自取組

めざす姿	01 遊び・楽しむ (02親しむ、03興味・関心を持つ)
ねらい	季節を感じ、自然の環境で遊ぶ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の森を探索する ・木の実や落ち葉拾いを楽しんだり、落ちていた棒で遊ぶ ・森の中での体験をふりかえり、お話をする
学習指導要領との関連	触れる・遊ぶ（幼児） 命の尊さ（幼児）、面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活）



木の実拾いを楽しんでいる様子



森の中を散策している様子

子どもの反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森に入った瞬間、足元がふかふかして何かがあると感じる子、視線を低くし虫さがし、棒を見つけて遊ぶ姿、木の実、草の実を採集する姿、今まで経験した事と森の中の現状の物をつないでお話をする子などそれぞれが森を満喫していました。
保護者のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ※ 森での森林教育実施後に、保護者による園庭緑化の取組に発展 ・ 何もなかった園庭に草花が芽生え虫が集まるようになり、子どもたちが夢中になって遊べる魅力的な環境となりました。大人だと見過ごしそうな物でも、子どもたちは立ち止まって発見し、喜ぶ姿が見られるようになりました。特に、砂場ハウスに植えられた草花を見つけた子どもたちは、見るだけでなく摘んで遊ぶことで、より遊びの幅が広がりました。このように園庭内でも身近な自然に触れることで、園外のフィールドに出ても自然の面白さに気付ける子に成長して欲しいなと願っています。